

# かんまき 議会だより

第99号

平成29年2月1日号



謝辞：決意あらたに

## TOPICS

12月定例会	2・3
議決結果	4
一般質問	5～10
斑鳩町議会が視察に	11
町村議会議員研修会	11
上牧第三小学校三年生議場見学	11
議会日誌	11
委員会合同視察研修	12

# 総務建設委員会報告

■奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合規約の変更について

問 西和衛生試験センターの閉鎖に伴い検査業務は外部委託になるが、それ以外の業務に付いてはその役割を担う部署をつくるのか。またセンターの職員の今後はどうなるのか。

答 その懸案ごとに既存の課で対応する。また職員は、それぞれの町職員として受け入れる。

■上牧町税条例等の一部を改正する条例

問 税条例の一部改正の特徴は。

答 医療費控除の特例として平成33年末までの間、市販薬（スイッチOTC薬）の購入が1万2千円をこえる場合（但し、10万円が限度）は、控除の対象となる。しかし、従来の医療費控除との選択制で重複控除はできない。

■上牧町印鑑条例及び上牧町手数料徴収条例の一部を改正する条例

問 個人番号カードを用いて市区町村が発行する各種証明書がコンビニエンスストアで自動交付出来るようになるが、その概要について伺う。

答 住民票と印鑑証明が取得出来る。手数料は200円で、今後は個人番号カードの普及につながると思われる。住民にとつてのメリットは、休日関係なく全国のコンビニで午前6時から午後11時まで必要な時に証明書が取得出来る。

■平成28年度一般会計補正予算（第3回）

9,091万2千円増額

問 中学校管理費の財源内訳で地方債180万円、一般財源82万3千円が計上されている。公債費はできるだけ計上しない方が、実質公債費比率を押し上げないので望ましいと考えるが、メリットはある

のか。  
答 メリットは交付税算入され、その30%が戻ってくる。

問 上牧中学校渡り廊下改築の財源について説明を求めます。

答 当初は改修で対応する方針であったが、二次診断の結果で危険が伴うとのことで改築する。国費申請の手続き上、改修から改築に変更することが不可能であり、中学校施設整備債による財源手当てになった。

問 経済対策臨時福祉給付事業の説明を求めます。

答 国の経済対策で当初予算では消費税率の引上げ（5%から8%）による影響を緩和するためであった。消費税率の引上げ（8%から10%）が2年半延期されたことを踏まえ、低所得者の安心感を確保するため、31年9月までの2年半分を一括して前倒しで支払うことにしたものである。支給対象者は3,180人、支給額は1万5千円で4,770万円の支給見込み額である。

問 経済対策の臨時給付金が、29年4月から給付される。対象者への周知方法は。

答 対象者への周知については、個人通知・広報・チラシでお知らせする。また、給付受付期間が半年経過した時点で、申請のない方には、再度はがきで通知をする。

問 地籍調査費の補助金と委託料が増額となったことについて説明を求めます。

答 社会資本整備総合交付金で国



上牧中学校渡り廊下

の大幅な増額補正があった。地籍調査は桜ヶ丘2丁目地内を予定している。

■第二小学校プール改装工事設計委託料674万円の説明を求めらる。

■工事は平成29年から30年度の実施予定である。設計を前倒しで行う。



第二小学校プール

■北葛城郡公平委員会規約の変更

■上牧町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

■特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

■一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

■地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書(案)

富木議員より、2名の賛成議員と共に提案がありました。

以上採決の結果、総務建設委員会では、いずれも全委員、異議なく可決いたしました。

しかし、本会議では、議員報酬引き上げの条例改正について、石丸議員と遠山議員から、住民の生活がきびしいなかでの引き上げであるとの理由で反対討論がありました。また、一般会計補正予算についても、議員報酬引き上げ分を含む予算であるとの理由で、反対討論がありました。

## 文教厚生委員会報告

■奈良広域水質検査センター組合への加入

西和衛生試験センター組合の解散に伴い平成29年4月1日から水道水質検査及びその他の水質検査を奈良広域水質検査センター組合で行います。

■上牧町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

台湾の方に特例適用利子等や特例適用配当金等の申告義務が新たに課されることになり国民健康保険税の所得割額等の算定を行うこととなります。

以上採決の結果、他4議案についても、全委員異議なく可決いたしました。

## 委員会付託しなかった議案

■町営住宅家賃滞納および住宅明渡請求に関する訴訟の提起についての専決処分報告

町営住宅家賃の支払いを拒否している被告に対し、滞納家賃支払及び住宅明渡の判決を求めるものです。

改良住宅家賃の支払を怠っている被告に対し、滞納家賃支払及び住宅明渡の判決を求めるものです。

■町営住宅家賃滞納請求に関する即決和解申立てについての専決処分報告

■改良住宅家賃滞納及び住宅明渡請求に関する訴訟の提起についての専決処分報告

住宅賃料及び駐車場使用料等の滞納支払い請求に関する即決和解申立てをするものです。

# 平成28年12月 定例会の議決結果

(平成28年12月5日～14日)

○賛成      ●反対      - 除斥      × 棄権      空白は欠席

議 案 名	議決結果	石丸典子	竹之内剛	遠山健太郎	牧浦秀俊	辻誠一	長岡照美	富木つや子	服部公英	堀内英樹	康村昌史	東充洋	吉中隆昭
専決処分報告について 町営住宅家賃滞納及び住宅明渡請求に関する訴訟の提起について	報 告	報告のため採決しない											
専決処分報告について 改良住宅家賃滞納及び住宅明渡請求に関する訴訟の提起について	報 告	報告のため採決しない											
専決処分報告について 町営住宅家賃滞納請求に関する即決和解申立てについて	報 告	報告のため採決しない											
奈良広域水質検査センター組合への加入について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合同規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長
北葛城郡公平委員会規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	は
上牧町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	×	採
特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	決
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	に
上牧町税条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	加
上牧町印鑑条例及び上牧町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	わ
上牧町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	り
平成28年度上牧町一般会計補正予算(第3回)について	原案可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	×	ま
平成28年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	せ
平成28年度上牧町介護保険特別会計補正予算(第3回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ん
平成28年度上牧町下水道事業特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町水道事業会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



# 一般質問一覧

遠山健太郎	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の交通事故対策について</li> <li>2. 子ども議会について</li> <li>3. 小中学校の暑さ対策について</li> </ol>	康村 昌史	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自主防災・防犯に対する公民館等の役割について</li> <li>2. 上牧町選挙管理委員会の役割について</li> </ol>
堀内 英樹	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地方交付税と臨時財政対策債について</li> <li>2. 行政経費の見直しについて</li> </ol>	富木つや子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育てと仕事の両立について</li> <li>2. 高齢者の交通事故について</li> </ol>
辻 誠一	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 29年度予算編成について</li> <li>2. 老朽化公共施設等について</li> <li>3. 主要地方道について</li> <li>4. 既設施設の有効利用（第二体育館）</li> <li>5. 初の防災訓練について</li> </ol>	長岡 照美	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防災対策で災害発生時における避難所運営について</li> <li>2. 若い世代の人口増の取り組みとして、結婚支援から住宅支援で結婚しやすい環境づくりを</li> </ol>
服部 公英	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住環境整備について</li> <li>2. ごみの中継施設について</li> </ol>	竹之内 剛	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発達障がいのある乳幼児の療育教室について</li> </ol>
牧浦 秀俊	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護予防、日常生活支援総合事業の進捗状況</li> </ol>	東 充洋	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成29年度予算方針について</li> <li>2. 上牧町職員の動向および労務管理について</li> <li>3. 消防行政について</li> </ol>
石丸 典子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険について</li> <li>2. 掲示板・広報板の修繕について</li> </ol>		



遠山 健太郎

## 小中学校の暑さ対策について

一暑さに負けず頑張る子どもたちに快適な学校環境を一

**問** 今年8月8日に開催された第3回上牧町子ども議会において、質問をされた11名の子ども議員のうち、3名の議員が「学校の暑さ対策について」質問をされています。今や、学校生活をおくる生徒児童の皆さんや親御さんにとって「夏の暑さ対策」は学校生活一番の願いといっても過言ではありません。今後の冷房設備設置に対する考えをうかがいます。



**答** 冷房設備設置については、上牧町内の普通学級70教室に入れると約2億円かかる試算で、国の補助が無ければ町の単独予算では設置が難しいのが現状です。

**問** 子ども議会でも提案がありました。網戸の設置だけでも次年度予算で対応していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

**答** 平成29年度予算に組み入れることができるよう、検討していきたいと思えます。



堀内 英樹

## 29年度予算厳しい、行政経費見直し不可避 —公民館等集会施設どうする、事務事業の点検も—

**問** 平成29年度予算編成は厳しく、行政経費の見直しは避けられない。なかでも公共施設等総合管理計画の取り組みが遅れているがどうか。

**答** 町としては先ず地震災害等に対応する形で役場庁舎や学校教育施設等の耐震工事に重点を置いてこれまで取り組んできた。公民館等の取り扱いは、集会施設改修補助金を全面的に見直して行かなければならないと考えている。

大地震等の大きな災害があった時には、安全な避難場所へ先ず移って頂き、長期化する場合は町の小中学校や体育館が広域的な避難所になる。

**問** 住民サービス向上と持続可能な行政運営の観点から事務事業の点検を…

**答** いまは限られた人員と予算のなかで、事務事業だけが増えている状況である。

上牧町総合計画（第5次）は策定中であるが、今後これに沿った形の行政運営を進めて行かなければならない。

多様化する住民ニーズに対応してのサービスの向上を第一に考えて事務事業の見直しに取り組んで行かなければならない。



辻 誠一

## 老朽化公共施設の維持・補修 —公民館・集会所などについて—

**問** 財政難の中、この議会でも、服部台の憩いの家と梅ヶ丘の老人憩いの家の補修費（其々、85万円、18万円）合計103万円が補正予算で承認された。

一方、公共施設等総合管理計画は今年度中に作成されなければならぬ。

策定状況をお聞きする。住民のアンケート結果はどのようであったか。

**答** 41・2%の回答がありました。

**問** 財源として、特別交付税措置は期待できるか。

**答** 策定業務に平成26年度より3年間措置されます。

**問** 公共施設等総合管理計画では、人口減少の将来を見据えた適正管理や統廃合が主眼で、建物の数の減少、延べ床面積も統合後、現状以下でないと交付税措置がある事業債の対象にならないと理解している。しっかりと計画を立てるよう。

**答** 基本的な部分をしっかりと計画します。

**問** 公民館、集会所などの法的位置付けは昭和20年代のもので古い。時代の変化とともに新しい形態が望まれている。

**答** 公民館、集会所等の役割、在り方を整理して、今後基本的な考え方をまとめます。



服部 公英

## 住環境整備について

**問** 北上牧地区の高齢化も進んでおり、地域の公園の管理ができなくなっています。また空き家になった住宅については、7軒の住宅の除却が行われました。このような状況で夜になると街の中は暗くて寂しい感じですか。上牧町として今後は住環境の整備について、どのような考えを持っていますか。

**答** 防犯灯については、自治会で設置していただいています。地区改良により造られた公園については、古くなった遊具を撤去し、地面については平らに整備して、草の生えない舗装材を取り入れた形の公園に整備していく考えを持っています。

**問** 最近では高齢者による交通事故が増えている報道を受けて、上牧小学校区の通学路の安全対策はどの様になっていますか。

**答** P T A、自治会、シルバークラブの協力を頂き登下校の際の見守り等行っています。また、教育委員会、各小学校、保護者による合同会議で通学路の危険箇所点検、安全性について話し合いをして、安全対策事業を行っています。



牧浦 秀俊

## 介護予防の基本的な考え方は

— 介護保険料負担を減らす努力を —

**問** 平成29年4月から始まる介護予防、日常支援総合事業はしっかり取り組んでいたかないと保険料にも反映され、住民負担が増えてしまう。また団塊の世代が75歳以上となる2025年までにきちり確立していただかなくてはなりません。どのように考えているのか。

**答** 2025年に向けて、医療、介護、住まい、生活支援の一体的なしくみづくりが必要である。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続するためには、医療介護サービスの強化が必要なのは当然であるが、まずは介護予防である。

お元気な方は、よ



り一層の健康の維持、少々虚弱な方は、これ以上生活機能が低下することのないよう介護予防を推進することが必要であると考えている。

この様な考え方もと寝たきりの方が少しでも減ることでも住民の保険料負担も減少する。来年4月からスタートするにあたり、協議体を中心に、地域コーデイネーター、行政、地域包括支援センターも含め住民にとって良い方法を考えていきたい。



石丸 典子

## 介護認定申請の受付を

**問** 介護保険を利用する場合、平成29年度からの新制度では、窓口での面接と「基本チェックリスト」で振り分けられ、介護申請に至らず「新総合事業」になる場合がある。チェックリストは、現在、65歳以上の人を対象に介護予防のために実施されている。介護や支援が必要かどうかを判定するものではない。



**答** 介護保険利用の相談があれば、これまで通り、要介護認定申請の受付を。窓口で、どんなサービスを利用したか、チェックリストで判断する。介護保険サービスが必要

な方には申請をしていただく。  
**問** 介護申請は、利用者や家族の権利である。行政の姿勢が判定に影響を及ぼさないよう、担当者は社会福祉士やケアマネージャーなどの専門職で。  
**答** 専門職の職員が分かりやすく、いい説明を行う。本人の了解を得てすすめる。



康村 昌史

## 自主防災・防犯 — 公民館等の役割について —

**問** ここ数年来、桜ヶ丘一丁目の自治会長が、三代続けて、「桜ヶ丘一丁目内に避難所（集会所）の建設」を上牧町に要望しているが、良い返事をいただけない。昨今のように災害が多発している時代なので、以前の判断にこだわらずに、新たな視点で建設を考えていただきたい。

**答** 以前、公民館等新規建設について、国・県等の補助事業を探したが見当たらなかった。また、建て替えをしなければならぬ公民館等が、上牧町に多数あり、財政的に厳しい。  
**問** 大災害が発生すれば、倒壊の恐れがある公民館等については、町単独事業としてでも早急に建て替えるべきである。  
**答** 災害時には、自助・共助・公助が必要とされる。特に共助の助け合いが必要だが、その拠点としての公民館等が無いのは、致命的なことである。  
**問** また、既存の公民館等もいづれ建て替える必要はないか。  
**答** その時、全額公費負担なのか、一部自治会負担なのかをはっきりさせなければならぬ。  
**問** 現在、公共施設等総合管理計画を作成中。出来上がり次第、上牧町公民館等建設要項を作成する。



# 女性の新しい働き方

## —上牧町でもテレワーク事業を—



富木 つや子

**問** 少子化が進み、仕事と子育ての両立が求められる中、仕事、育児、介護の両立を実現する、ワーク・ライフバランスの充実等、女性が働く環境づくりは今後、必要と考えます。本町の地方創生、総合戦略の中でも様々なライフスタイルにに応じた働き方の展開が方向付けられています。女性の新しい働き方として、子どもを見ながら仕事ができる、テレワーク事業の取り組みを提案します。町長のお考えは。



**答** 女性は結婚、出産で一度、離職してしまうと就労が難しく、女性が働く環境づくりは必要である。また、上牧町は住宅地でもあり、働く場所も少ないため、若い子育て世代のママさんたちが仕事をしたくても就労しにくい状況がある。このような事もあり、町内のママさんたちに働く場と子育ての場を提供し、安心して子育てが出来るまちとして、「ママスクエア」という会社と契約してテレワーク事業に取り組み。今後は実現に向け、しっかりと協議して進める。

# 災害発生時における避難所運営について

## —避難所運営システム(HUG)の実施—



長岡 照美

**問** 災害発生時の避難所運営の流れはどのようになっているか。

**答** 発生から閉鎖までの期間、避難所運営マニュアルでまとめ、災害対策本部・避難所施設管理者・自治会自主防災組織・避難者等に分けた形で整理しているところです。



**問** 避難所運営について伺う。

**答** 避難所運営についてはスムーズにいくよう関係者に集まってもらい図上訓練を行いたい。その中で問題点や配慮について考えて頂ける避難所運営システムの訓練をしていきます。



竹之内 剛

## 発達障がいのある乳幼児への療育教室設置に向けた取り組み

**問** 発達障がいのある乳幼児への超早期の療育支援が重要であるにもかかわらず、現在、本町在住の発達障がいのある乳幼児は県の専門施設に行けない場合、就学前の療育教室を受けられない状況である。

**答** 本町では、9月議会でご前向きに取組みの意向を示されたが、その後どうなっているのか。  
**答** 発達障がいのある乳幼児の早期支援に対する重要性の観点から、専門的に対応できる専門員を設置し進めていきたい。担当は、生き活き対策課で教育委員会とも協働し、連携して行う。

**問** 子どもに療育訓練を受けさせられない保護者は、強い不安を抱え切に開設を望まれている。平成29年度開設は可能か。

**答** 早期準備の必要性は感じているが、人選が困難な状況のため、時期は申し上げにくい。

**問** 開設場所は、どちらを予定しているか。

**答** 環境の変化を考慮し、ペガサス教室の1室を考えている。

**問** ペガサス教室での就学前の療育相談は、今後も継続可能か。

**答** 継続するためにも、今後も人材獲得に努める。



東 充洋

## 真に住民の安心・安全を守る 身近な消防を強く求める !!

**問** 平成26年4月に設立された「奈良県広域消防組合」は設立して二年余りにならぬが西和消防組合時とどう変わったのか。

**答** この間の広域化によるメリットは、①現場体制②消火体制③救助体制④大規模特殊災害時における現場体制⑤緊急体制とそれぞれの充実強化が図られる⑥財政⑦予防部門の高度化などである。

**問** メリットだけを述べられたが、実際はそうではない。

**答** 先月消防署員が、昭和59年から続けて

きた「一人暮らしの高齢者宅への防火訪問」を諸事情により今年度で終了するとするの文書を届けている。

諸事情とは担当地域の拡大と人員不足である。お年寄りが頼りにする消防署による防災活動が広域化でなくなるのは問題である。

**答** 「一人暮らしの高齢者宅への防火訪問」の変更は、今日初めて聞いた。広域消防組合に対しての意見や提案をする機会があるので今回の質問内容を話題に取り上げたい。

### 斑鳩町議会が視察に

10月17日に、斑鳩町議会が議会  
—T化の視察に来られました。

今回の視察の目的は、上牧町が  
導入している、タブレット端末を  
活用した議会運営の具体的な内容  
や課題についてうかがいたいとい  
うものでした。

視察に来られた斑鳩町議会中西  
議長をはじめ議会運営委員会の各  
委員が、実際に使用しているタブ  
レット端末を手に取り、今後の導  
入に向けて様々な角度より熱心に  
質問をされていました。



### 町村議会議員研修会



11月4日に町議会議員研修会が  
実施され、「地方創生時代」〜首  
長執行部と議会の役割〜と題し、  
北川正恭早稲田大学名誉教授より  
講演がありました。

地方創生時代の議員の役割とし  
ては、議員個人が変わるだけでな  
く議会そのものを変え、広く民意  
を反映させるような仕事をしなけ  
ればならない、議会は決定権者とし  
てもっと執行権者である行政側  
と議論を交わせるようにならな  
ければならないと講話されました。

### 上牧第三小学校の 三年生が議場を見学

11月22日に、上牧第三小学校の  
三年生61人が、社会科教育の一環  
で議場見学に来ました。

議場では、上牧町役場の仕事内  
容や一日の来庁者数、たくさんの  
課があるのはなぜか、といった  
様々な質問を、真剣な眼差しでお  
こなっていました。

普段は静かな議場がとても賑や  
かになりました。小学生の皆さん  
は、質問以外にも、議員や理事者  
側の席に座ったり、貴重な経験が  
できたことと思います。



## 議会 会 日 誌

- |     |                |     |              |
|-----|----------------|-----|--------------|
| 27日 | 議員懇談会          | 25日 | 総合計画審議会(第9回) |
| 26日 | 王寺周辺広域市町村圏協議会  | 22日 | 総合計画審議会(第8回) |
| 21日 | 町社会福祉協議会理事会    | 18日 | 北葛城郡町議会議員研修会 |
| 20日 | 町シルバー人材センター理事会 | 16日 | 北葛城郡町議会議員研修会 |
| 14日 | 広報委員会          | 9日  | 総合計画審議会(第7回) |
| 13日 | 第4回定例会(最終日)    | 8日  | 総合計画審議会(第6回) |
| 12日 | 一般質問(5名)       | 4日  | 奈良県町村全議員研修会  |
| 7日  | 総務建設委員会        | 3日  | ペガサスフェスタ     |
| 6日  | 総務建設委員会        | 2日  | 奈良県町村全議員研修会  |
| 5日  | 文教厚生委員会        | 1日  | 議会議事録        |
| 1日  | 議会議事録          |     |              |



## 総務建設・文教厚生委員会合同研修について

平成28年10月20日と21日、兵庫県淡路市と徳島県上勝町に総務建設・文教厚生委員会合同で研修に行きました。

### ☆兵庫県淡路市（震災時北淡町）

平成7年に発生した阪神淡路大震災は、死者6,434名という極めて深刻な被害をもたらした。淡路市（震災時は北淡町）は、この地震で新たな断層のずれが生じた野島断層に位置する。案内役の廣岡卓樹氏は、震災時、北淡町の総務課長で、震度7以上の状況に遭遇した場合、経験からでは何もできないと述べられていた。

当時、北淡町は役場がコミュニティの核で、向こう三軒両隣の関係により、住民の力で300人を助けたが、自助・共助が崩壊するなかでコミュニティを守ることが大きな課題と指摘されていた。当時の町長の要請により「阪神・淡路大震災」の「淡路」が追加された経緯を説明頂いた。

昨今様々な自然災害が発生する

中、平素からの防災対策、並びにコミュニティ形成の重要性への学びを今後の活動に活かしたい。



阪神・淡路大震災のメモリアルホール

### ☆徳島県勝浦郡上勝町

上勝町は、人口1,699人・81.5世帯（平成28年1月現在）、高齢化率51%、四国で最も人口の少ない過疎・高齢化の町である。ごみの適正処理として、先ず生ごみの堆肥化に取り組み、生ごみ処理機の購入費補助制度を導入、各家庭で生ごみ処理の普及率

は98%にのぼる。

「ごみを限りなくゼロに近づけるリユースの取り組みの「くるくるシヨップ」での循環率が7〜8割、「くるくる工房」で独自にリサイクルする取り組みを進め、平成15年（2003年）9月、「ごみゼロ宣言」をされた。

今回の研修で、資源ごみの回収利益を住民に還元する仕組み等を学び、今後、上牧町での活用方法を研究し、政策提言していきたい。



55 分別のごみステーション

## 次回の定例会は 3月7日開催予定

- ・第1回上牧町議会定例会  
平成29年3月7日（火）  
午前10時から
- ・議会運営委員会  
平成29年3月7日（金）  
午前10時から

## 編集後記



▼節約で、家計もごみも、ダイエット▼ごみ焼却の民間委託が十一月から開始、処理費用は「ごみの重さ」による▼天理の広域ごみ処理（七年後に操業開始）、分担金は「ごみ量割」に決まる▼ごみの減量・分別・再利用で、家計も役場も環境も「三者三徳」を…

☎ 0745-76-1001  
☎ 0745-76-1003  
広報委員会

委員長 辻 誠一  
副委員長 牧浦 秀俊  
委員 石丸 典子  
委員 竹之内 剛  
委員 遠山健太郎  
委員 長岡 照美  
委員 堀内 英樹